

「CCかわさき」とは?

京都議定書の約束期間がスタートした2008年、環境と経済の調和と好循環を基本方針とした「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CC かわさき)」が策定されました。「川崎温暖化対策推進会議(CC 川崎エコ会議)」は、その推進組織として設立され、これまで、市民、事業者など、多様な主体が一丸となって様々な取組が展開されてきました。

この間、東日本大震災(2011年)や持続可能な開発目標(SDGs)の採択(2015年)、パリ協定の発効(2016年)など、とりまく状況は大きく変化しており、市では、2018年3月、地球温暖化対策推進基本計画を改定しました。

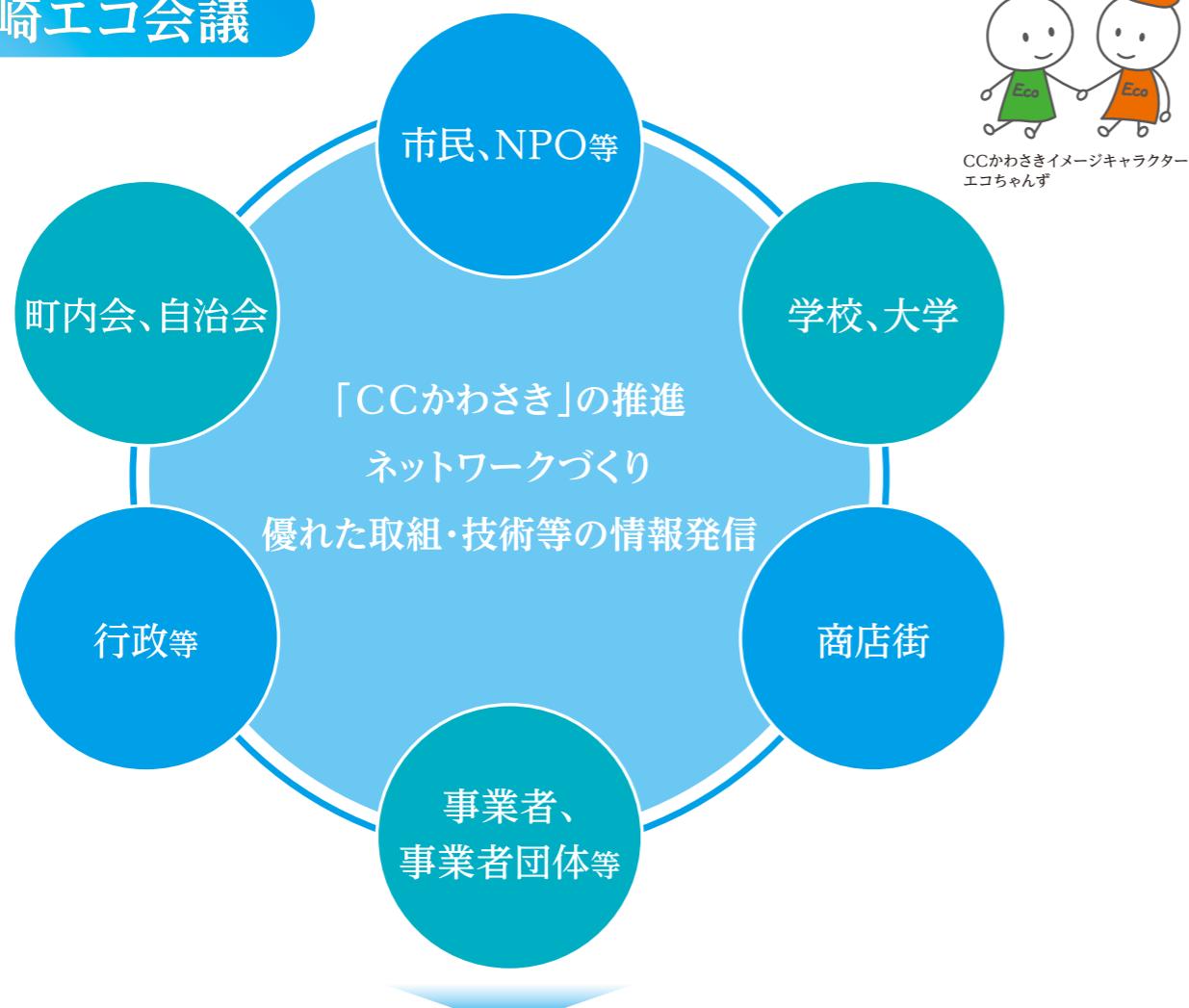
こうした中、「CC かわさき」にも、新たな視点も求められていることから、「CARBON CHALLENGE」に加え、パリ協定を踏まえた国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」の推進、気候変動への適応(adaptation to CLIMATE CHANGE)などを幅広くカバーし、より一層多様な主体が連携して地球温暖化対策を推進していきます。

CARBON CHALLENGE…CO₂削減への挑戦

COOL CHOICE…省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する「賢い選択」をしていくという取組

adaptation to CLIMATE CHANGE…異常気象の増加など気候変動に伴う様々な影響に対する適応

CC川崎エコ会議



主な取組

「スマートライフスタイル大賞」

川崎市内には、優れた環境配慮への取組が多くあります。

より一層、こうした取組が広がるよう、市民、事業者等のCO₂削減に貢献する取組を表彰し、広く市内外に発信しています。



「HP及びメールマガジンによる情報発信」

CCかわさき専用ホームページを開設し、会員団体をはじめとした市民・事業者・行政の取組を情報発信するとともに、会員団体向けのメールマガジンにより、最新の環境情報等を共有しています。



「CC川崎エコ会議シンポジウム」

地球温暖化対策に関するタイムリーなテーマでシンポジウムを開催しています。講演やスマートライフスタイル大賞受賞者の取組紹介を通じて、地域における各主体の取組の可能性等を考える機会としています。



▲「宇宙から見た地球温暖化について」(JAXA)など、様々なテーマで講演会を開催

市民・事業者・行政の協働による地球温暖化対策の取組例

CC 川崎エコ会議会員間の連携による様々な取組が展開されています。

その一例として、川崎フロンターレをはじめ、会員が連携して「エコ暮らしこフェア」を開催しています。

